

広  
報

# 常陸大宮

2026

3

No.258



特集

## 地域を守る消防団

【表紙】常陸大宮市消防団に所属する大森俊介さん（左）と野上恵里さん（右）です。消防団は非常勤の公務員として、消火活動だけでなく、多岐にわたる活動を行っています。今月号では、地域のヒーローとして活躍する消防団の活動や、消防団員へのインタビューなどをご紹介します。

特集

# 地域を守る 消防団



火災を防ぐ設備や知識がどれほど発達しても、私たちの暮らしから火災の脅威が消えることはありません。火は便利であるのと同時に、「恐れるべきもの」でもあります。特に常陸大宮市は、自然豊かであるがゆえに、近年、ニュースで目にする大規模な山林火災などが発生する可能性もあります。

実際に、近隣市町村で大規模な山林火災が発生した際、本市から応援に駆けつけるほどの緊急事態となるケースも少なくありません。こうした有事の際、命と地域を守るために立ち上がり、消防署員と同じく現場へ急行する人々がいます。普段は私たちと同じ街で暮らす一般市民でありながら、火災通報があれば一変、現場の最前線へと向かう「消防団」です。

## 消防団は非常勤の公務員

消防団員の正式な扱いは「非常勤特別職の地方公務員」となり、活動に応じた報酬や、在籍年数に応じた退職金が支払われます。単なるボランティアとは違い、定期的な訓練を行い、その知識や技術で自らの地域を自らが守る「責任ある地域のヒーロー」なのです。

3月1日現在、常陸大宮市消防団には724人の正規団員が所属しています。その多くが仕事を持ちながら活動していますが、平日の日中などは仕事で市外にいる団員も少なくありません。それをカバーする存在が、市内に61人いる「機能別団員」です。消防署や消防団のOBで構成され、豊富な経験と知識を生かして、日中の火災発生時などに迅速に対応します。また、14人の女性が所属する「女性分団」もあり、広報活動や応急手当の普及など、きめ細やかな活動で地域を支えています。

## 火災の後、現場を見届けるのは消防団

常陸大宮市消防団は、エリアごとに19の分団が存在し、管轄エリアの火災通報があると、各分団が管理する消防車に乗って現場に向かいます。現場では、近くの防火水槽や消火栓からホースをつなぎ、消防署員と同じく消火にあたるほか、周囲の安全確保や交通整理などで消火のサポートを行います。そして、鎮火したあと、消防団員が現場に残り、再び炎が上がらないか警戒し、安全が確認できたのちに活動を終わらせます。

## 長年の活動から全国表彰も

令和6年3月には、消防団として最も名誉のある「日本消防協会定例表彰特別表彰」を受賞しました。市消防団は、令和4年10月に消防の技術を競う「全国消防操法大会」に茨城県代表として出場した功績や、県内有数の団員数を誇る消防団として活動を継続できていることなどにより受賞に至りました。

全国表彰を受けるほどに誇り高い地域のヒーローによって、私たちの安全は守られています。



▲特別表彰の証として送られた「まとい」と表彰状。「まとい」は高さ2.1mあり、純金箔・純銀箔仕上げの特別仕様です。

# 多岐にわたる 消防団の活動

消防団の活動は、火災時だけに限りません。地域の防災の要として、水害などでも活動するほか、有事に備えて、訓練や設備点検などを行っています。また、市民が自分で自分を守るように啓発活動にも励んでいます。



▲放水の動作の正確性や素早さを競う「操法大会」。ポンプ車や小型ポンプなどは、操作によって放水する勢いも変わり、消火に適した水圧で放水するために、定期的な訓練が欠かせません。その成果を披露する場になっています。



▲▼久慈川が流れる5市村合同で行う「水防訓練」(上)や、ボートでの行方不明者捜索を想定した訓練(下)で、川の脅威にも備えています。一級河川の久慈川・那珂川が流れる常陸大宮市ならではの活動です。



女性団員は、全員が救命講習指導員の資格を持ち、救命講習の講師として指導を行っています。



▶「山火事中継訓練」では、防火水槽から遠い山林火災を想定し、十分な圧力で放水できるように、ホースとポンプの中継方法やポンプの圧力調整を訓練しています。



## 活動は他にも……

### ●防火水槽の定期確認、周辺の草刈り

消火で使う水は、防火水槽からくみ上げます。緊急時に「水が無い」という事態を防ぐために、市内に約1,700か所ある防火水槽を各分団で確認しています。夏場には防火水槽周辺の草を刈り、火災発生に備えています。

### ●花火打ち上げでの散水、警備

お祭りなどでは、花火の打ち上げ場所の地面に散水し、花火の火の粉による火災を防いだり、火の粉が落ちる可能性のある場所に人が立ち入らないよう警備をしています。

### ●団体での献血

茨城県で輸血用血液の不足が続いていることから、令和7年から県内初となる消防団による献血の協力を始めました。



第11分団所属  
大森 俊介 さん

社会人になるタイミングで、市外から常陸大宮市に戻り、地元の先輩からの誘いを受けて消防団に入団したという大森さん。当初は「火を消す現場は大変そうだ」という漠然としたイメージを持っていましたが、訓練を重ね、実際に火災現場での活

動を経験するうちに「自分たちの街は自分たちで守る」という気持ちが芽生えたと話します。月に2回、ポンプ車の操作訓練などを通して、分団にいる誰もが、いかなる時でも機械を扱えるよう、先輩から後輩へと技術が継承されています。

令和4年10月には、「全国消防操法大会」に茨城県代表として出場しました。大会出場にあたり、ホースの接続や水圧調整などの練習を重ねました。「出場してみて、操法大会は消火活動の基本が詰まっていると思いました。現場に生きるスキルアップができたと感じています」と話します。

現場での活動では、人命救助を第一に考えつつ、専門部隊である消防署員が到着するまでの「つなぎ」としての役割を意識しているという大

森さん。「気持ちが熱くなり、危険に飛び込まないよう、一步引いて周囲の安全管理を徹底することを心がけています」と話します。

最後に市民へのメッセージとして大森さんは、「地域の防災力を高めるには、一人ひとりの意識と協力が必要です。火の取扱いに注意し、地域の防災訓練に参加して、日頃からの備えをお願いしたいです」と話してくれました。



▲大森さんは特別表彰のきっかけである全国消防操法大会に出場しました。

# Voices of 消防団

—地域を支える人々—



女性分団所属  
野上 恵里 さん

20歳のときに入団した野上さん。当時、市外に住んでいましたが、「大好きな常陸大宮市に関わりたい」という思いから、入団を決意しました。

普段は看護師として働く野上さんは、仕事のスキルや経験を生かして

活動に励んでいます。救命講習では、専門的な知識を一般の方にも分かりやすく、ハードルを下げて伝えることを意識しているという野上さん。「緊急時、完璧ではなくても、まずは応急処置を行うことが大切です。講習を受けて『いざという時に自分の大切な人を助けられる』という感覚を多くの人に持ってもらいたいです」と話します。

火災予防の広報も女性分団の重要な活動です。毎年、春・秋・年末の火災予防パレードなどで注意を呼びかける中で、防災意識も変わったといいます。「活動を始めてから、自宅でもコンセントのほこりや乾燥機の上に洗濯物を干すことなど、火災の原因になるものが目につくようになりました。生活の中でも細心の注意を払っています」と話します。

最後に誰でもできる防災の心がけとして「自然を甘く見ない」ことを挙げた野上さん。「春もまだまだ乾燥しており、野焼きなどが火災につながります。火災以外にも、川の増水を見に行く行為も、自分が巻き込まれたとき、救助してくれる人たちに迷惑をかける行為でもあります。自然を甘く見ないよう意識してほしいです」と話してくれました。



▲出初式では制服姿で参加した女性分団。「パレード形式で、子どもたちに喜んでもらえて嬉しかったです」と野上さん。

## あなたの力を消防団に 消防団員を募集しています

消防団で活躍しながら、自分と地域の防災力を高めませんか？

### 【入団資格】

- 18歳以上の者(男女問わず)
- 心身ともに健康な方
- 消防分団の区域内に居住または勤務する方  
※ただし、消防団長が認める場合は、この限りではない



▲茨城県消防安全課公式 YouTube 「消防団の活動紹介」の動画に常陸大宮市消防団が出演しています。ぜひご覧ください。



## 団員・家族が対象！割引などで応援！ 消防団応援の店

「消防団応援の店」とは、店頭で「団員カード」「家族カード」を見せると割引やサービスが受けられる市内のお店です。現在、38事業所が登録しています。



「消防団応援の店」加盟店も募集中です。常陸大宮市を守る消防団を、割引やサービスといった形で応援しませんか？

詳しくは消防本部総務課へお問い合わせください。

## 地域貢献する従業員を応援 消防団協力事業所

従業員の消防団の活動に協力いただける事業所を募集しています。現在、市内28の事業所が登録しており、従業員が消防団での呼び出しを受けた時に業務とみならず、災害時に事業所の建物・機材などを、被災者のために使うなどの協力をいただいています。消防団協力事業所として認定された事業所には「消防団協力事業所表示証」を交付し、市ホームページ等で事業所名を公表します。



## 消防本部からのお願い

一人一人の心がけが火災予防につながる

## 野外で火を扱うときは「届出」と「確実な消火」をお願いします

令和7年の出火件数は26件で、令和6年から4件増加しています。さらに、常陸大宮市の火災では「その他火災」の割合が多いことが特徴で、その原因は、野焼きやたき火などの野外での火の使用によるものが多くを占めます。

野外で火を使う場合には、たき火などの小規模でも、必ず消防本部へ届出を行ってください。また、必ず、消火用の水などを準備してから火の使用を開始し、使用後は小さな火種も確実に消えるように処理をお願いします。

	令和7年	令和6年
出火件数	26件	22件
その他火災	13件	15件

## いま、常陸大宮市が直面していること

現在、本市の教育環境は大きな転換期を迎え、大きく2つの課題に直面しています。一つは「少子化」です。令和7年度の小学校の新入生数は214人で、毎年徐々に減少しています。もう一つは、住む地域による「教育の格差」です。市街地では塾などの教育施設を利用しやすい一方、周辺地域ではその選択肢が限られるなど、居住地によって教育的利便性に差が生じています。市では、どのような状況でも、すべての子どもたちに等しく質の高い学びを届けるため、教育環境の充実に努めています。

## 子どもたちを支えるために市が進める取組

### 義務教育施設適正配置審議会

これから10年、20年先を見据えて安定的で質の高い義務教育を提供し続けるため、令和7年12月から有識者による審議が始まりました。

時代とともに学校に求められることが変わっていく中で、未来の学校像を描き、市民の皆さんの声を反映しながら、今後も常陸大宮市の適正規模を探っていきます。



### オンライン学習サービス

AIドリル機能に特化した「eライブラリアドバンス」(ラインズ株式会社)や講義動画を見たりWEBドリルを解いたりできる「スタディサプリ」(株式会社リクルート)といったオンライン学習サービスを、市内の全小中学校の児童生徒は無料で利用できます。

児童生徒がタブレットを使って、自分の学習の進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができるほか、塾などへ通うことの難しい地域や環境の格差解消も目指しています。

### 未来の学びを支える エデュケーション推進事業

複式学級がある学校には、市が独自に先生を増やして配置しています。一人ひとりに寄り添いながら、子どもたちの可能性を伸ばす、温かく手厚い教育を届けていきます。

## 「地域」と「つながり」で学びを豊かにする各学校の取組 (令和7年度)

各学校では、地域やこれまでのつながりを生かした特色ある特別授業などを行っています。学校ごとのユニークな取組をとおして、子どもたちの郷土愛や多様な視点を養っています。



▲第二中学校のキャリア教育授業



▲大宮北小学校の「こども歌舞伎」



▲上野小学校の「上野っ子野菜」の栽培、梱包、販売



▲大賀小学校のパラオ共和国小学生とのオンライン交流



▲緒川小学校の「常陸大宮大使 宗次郎さんのオカリナコンサート」

# ひたまるアプリ を始めてみませんか？

企画政策課広報戦略グループ ☎52-1111(内線311)

「スマートフォンは持っているけれど、電話やメッセージのやりとりくらいしか使っていない」という方も多いのではないのでしょうか。実は今、スマホを「市役所からの便利なおたより」として使う方が増えています。ひたまるアプリなら、市の大切な情報がタイムリーに、あなたの手元へ届きます。常陸大宮市での暮らしがもっと快適になる、ひたまるアプリをぜひご活用ください。

## アプリの「ここ」が便利！3つのポイント

### ゴミ出しを忘れない

お住まいの地区を登録すると、ごみ収集日前日の夜7時に、通知が届きます。

### 防災無線が手元で鳴る

防災無線とほぼ同時に、スマートフォンにお知らせが届き、文字で放送内容を確認できます。

### 最新情報がすぐ届く

市のHP更新と連動した通知が届きます。手続きやイベントなどの情報を逃さずキャッチ。

## ダウンロードと設定の手順

### アプリのダウンロード編

1 カメラを起動して、下の二次元コードにかざす



2 出てきた「リンク」を押す

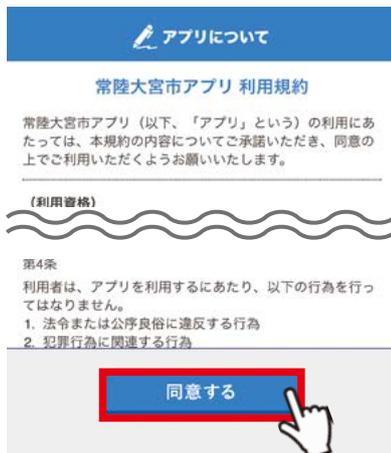


3 入手(インストール)を押す



### はじめての設定編

1 アプリを開いて、利用規約に同意するを押す



2 お住まいの地区を入力し、通知を受け取るにチェック



3 希望の通知時間にチェックし「<」を押す



2/5 献血功労団体に感謝状授与

献血活動に協力した功績がたたえられ、上岩瀬区のイリソ電子工業株式会社茨城工場に、日本赤十字社茨城県支部長感謝状（銀色枠）が贈られました。

イリソ電子工業株式会社茨城工場では、5年以上献血事業への協力を行っており、献血への理解促進に熱心に取り組まれ、勤務時間内にも参加しやすい環境を整備するなど、安定的な血液確保に努め、他の模範となる団体であるとして、今回の感謝状授与に至りました。



▲（左から）イリソ電子工業株式会社 川野辺信彦茨城工場長、岩間真嗣茨城工場管理課長

2/13 優秀な成績を収めた児童生徒らを表彰  
常陸大宮市教育振興大会を開催

「令和7年度常陸大宮市教育振興大会」を開催しました。この大会は、本市の教育の振興・発展に寄与された方々を表彰し、郷土を愛する心をさらに育むことを目的に毎年開催しています。

第一部の表彰式典では、寄附者等へ感謝状や各種大会などで優秀な成績を収めた児童生徒に表彰状を贈呈しました。また、第二部では、二松亭ちゃん平先生（茨城キリスト教学園高等学校斎須博教頭）に学校に関する創作落語をご披露いただきました。



▲第一部の表彰式の様子

2/17 常陸大宮市・常陸太田市・大子町の消防本部が  
「救急」にスポットを当てて合同訓練

常陸大宮市・常陸太田市・大子町の消防本部の合同訓練を常陸大宮市消防本部で行いました。3市町では、消防広域化を見据え、令和6年に人事交流協定を締結しています。

今回の訓練では、現場活動件数が最も多い「救急」にスポットを当て、「自宅で突然倒れた60歳男性の救命救急」を想定した訓練を行いました。各消防本部隊員が、実際の救急車や機材を使用し、出動から現場での処置と、医療機関医師への病院受入要請までの動きを実演しました。



▲合同訓練を通して、各消防本部の救急隊の動き、除細動器や自動心臓マッサージ器などの資器材の違いを共有しました。

常陸大宮市公式 SNS 本市の情報を発信中！



広報紙・ひたまるアプリ  
掲載広告募集中！

【広報紙（広報常陸大宮・お知らせ版）】  
半枠（45mm×85mm）、全枠（45mm×175mm）  
【ひたまるアプリ】  
スマートフォン通知、アプリ内に1週間記事掲載  
詳しくは企画政策課（☎52-1111 内線311）までお問い合わせください。

2/18

国勢調査などに長年従事した方に  
国や県からの表彰を伝達

国勢調査やその他の基幹統計調査に長年にわたり従事した功績が認められた4人に、農林水産大臣表彰、茨城県統計協会総裁表彰の伝達を行いました。

●農林水産大臣表彰

木村 康広さん、堀江 隆一さん

●茨城県統計協会総裁表彰

片岡 憲太郎さん、中島 伸一さん



▲ (左から) 木村康広さん、堀江隆一さん、片岡憲太郎さん、中島伸一さん

2/20

茨城県火災予防ポスターコンクール  
山方中 大津さんが最優秀賞を受賞

茨城県内の小・中学生を対象とした「火災予防ポスターコンクール」中学生の部で、山方中学校2年の大津結菜さんが最優秀賞を受賞しました。市内中学校の生徒が同コンクールで最優秀賞を受賞するのは初めてです。

母にポーズを取ってもらいながら忠実に人物を描いたり、火災で準備した方が良いもの、注意したほうが良いものを一つ一つ細かく仕上げたという大津さん。その丁寧さが、今回の受賞につながりました。



▲ (中央) 大津結菜さん

3/12

大曾根内科小児科 大曾根卓医師  
医療功労賞表彰を受賞

栄町にある大曾根内科小児科の大曾根卓医師が、読売新聞社主催の医療功労賞地方表彰を受賞しました。この表彰は、過疎地域などの困難な環境下で地域住民のために献身的に活動を続けている医療従事者の活動を讃えるものです。

大曾根医師は、多年にわたり市医、学校医として、乳幼児や児童の健康診査や予防接種の実施、特定健康診査・二次健診の実施など、市民の健康管理や治療業務に尽力されてきました。



▲ (右) 大曾根卓医師

善意をありがとう



奥久慈枝物部会 様  
奥久慈の花桃 (市内保育園・認定こども園などへ)

## 薄井友衛門の書状

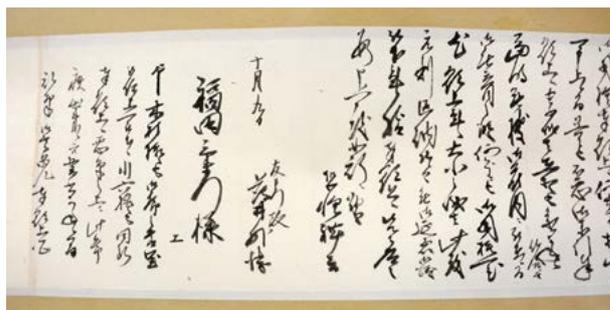
常陸大宮市文書館には、郷土の歴史が記された貴重な古文書が数多く保存されており、先人たちの足跡を現代に伝えていています。今回は、当館に寄託された文書の中から、<sup>とりのこ</sup>鷺子村（現鷺子地区）出身の郷士である薄井友衛門<sup>うすいともえもん</sup>の書状を紹介します。

### ◇薄井友衛門の足跡

薄井友衛門は、鷺子村の村役人を務めていた豪農・薄井家に生まれました。本名は貞蔵（後に昌脩、外衛と名乗る）で、天保9年（1838）に先代友衛門から家督を相続し、弘化3年（1846）に友衛門を襲名しました。薄井家は紙問屋として巨額な財を成したことから、次第に水戸藩との結びつきを強め、特に先代友衛門は2,000両もの大金を藩に献上したことで郷土（いわゆる下級武士）に取り立てられるなど、地域の有力者として藩政に関与するようになりました。また、時を同じくして薄井家は烏山藩から藩財政の立て直しについて協力を求められており、「御用<sup>がつてかたごようたし</sup>勝手方御用達」という役職に就任しています。一方で、手荒な高利貸しの実態や不正行為を同じ鷺子村住民に訴えられるなど、地元住民との間に軋轢<sup>あつれき</sup>が存在したことも否定できません。友衛門（昌脩）の代になると、薄井家は献金によって水戸藩との関係をさらに深めていきます。特に、門閥派（保守派）の代表である結城寅寿の影響下で地位を高めるようになり、弘化2年（1845）に郷士としては最高格である「代官<sup>たいかん</sup>列」に任じられます。しかし、徳川斉昭の謹慎が解かれ、改革派が一気に台頭すると、結城一派は激し



▲鷺子村絵図に記された薄井友衛門の屋敷



▲薄井友衛門書状（大山富彌氏寄託）

い制裁を受け、友衛門は結城寅寿に与した罪で入牢となり、それまでの身分を全てはく奪されました。その後、元治元年（1864）に天狗派・諸生派の抗争が勃発すると、薄井家の処分は解除となり、友衛門は諸生派の指導者層として天狗派の郷土や村役人の家に押し入り、打ち壊しなどの凶行に及んだほか、数々の戦場に参加して武功を挙げたと伝わっています。慶応3年（1867）、藩内で諸生派排斥の運動が高まると、友衛門は家族を連れて鷺子村を脱出し、駿河国沼津（現静岡県沼津市）へと逃れます。そして、明治7年（1874）に静岡の地で生涯を終えることになりました。

### ◇書状の中身について

今回紹介する書状は、薄井友衛門（昌脩）の筆によるもので、福田三衛門に宛てた書状になります。作成年代は日付のみ記されていますが、差出人名が「友衛門改薄井外衛」とあることから、家督を長男に譲り、昌脩から外衛に改名した慶応元年（1865）ごろと考えられます。内容は金銭の貸し借りに関するもので、「金<sup>きん</sup>」（＝金銭）の返納が延びていることに対しての「お詫び」などが記されているほか、「当時無<sup>とうじよんどころなく</sup>掛御府内二罷在候間、何分二も御用捨<sup>ごふない まかりありそうろうあいだ なにぶん ごようしゃ</sup>と、友衛門が「御府内」、すなわち江戸に滞在していたことがうかがえます。友衛門が江戸に赴いた理由については不明ですが、家業である紙問屋の関係か、あるいは水戸藩士としての用事でしょうか。こうした何気ない日常を記した書状から、新たな歴史が判明することもありますので、今後も調査を続けて参ります。

### 【参考文献】

- ・野上平『水戸藩農村の史的探究』茨城新聞社、平成28年
- ・美和村史編さん委員会編『美和村史』平成5年

※薄井友衛門の本名については読み方を特定できていないため、ふりがなを表記していません。

（文書館 高橋拓也）

## 気持ちに共感し受け止める 子どもの心との向き合い方

子どもたちの心は成長とともに揺れ動くことがあります。大人たちから見たときに、気持ちが不安定に見えたり、何を考えているか分からなくなることもあるかもしれません。そうした状態が、子どもたちの正常な心の成長の中で見られる一時的なものであったりもしますが、中には背後に心の病気が隠れていることもあります。子どもたちの心のSOSのサインや声かけのポイントなど、子どもの心と向き合っていく方法をご紹介します。

### 子どものその行動、心のSOSのサインかも？

悩みやストレスが大きくなって、心がダウンしそうなとき、特に睡眠、食欲、体調、行動の4つの面に、サインが出てくることが多いです。周囲の大人にとっては「困った行動」に見えることがあっても、それは子どもが発信しているSOSかもしれません。

#### 心のSOSサインの例



### 声かけのポイント

子どもの様子が気になるとき、「どうしたの?」「何があったの?」と問い詰めてしまうことがあるかもしれませんが、しかし、問い詰めるような声かけは、気持ちを話しづらくなることもあります。無理強いせず、「いつでも聞くからね」と伝え、話してくれるのを待ってみましょう。「〇〇すべき」という意見、「〇〇してほしい」という考えはちょっと脇に置いて、じっくりと子どもの気持ちに共感し、受け止めることが大切です。



#### 相談窓口をご利用ください

相談された大人も問題を一人で抱え込みすぎず、信頼できる人や学校や専門家に相談してみてください。

常陸大宮市でも、無料の相談窓口を設置しています。子どもに関することはもちろん、悩みに応じた相談窓口がありますので、ご活用ください。相談できる内容や日時・場所などは、毎月10日発行のお知らせ版で案内しています。



▲4月の各種無料相談



## 株式会社ヒラノ丸山牧場

住所 常陸大宮市上村田 1609

業務内容 養豚業及び肉豚卸・販売業

採用のお問い合わせ ☎ 0476-73-8302 ✉ contact@hirano-pork.co.jp  
(担当: 総務人事課 荒井)

### Interview 富永 悠太 さん

朝夕2回の豚舎巡回や豚の出荷、体重測定、豚舎の清掃・整備など、豚の飼育管理に関する業務全般を行っています。プライベートの都合で常陸大宮市内で体を動かす仕事を探していたところ、当社の求人を発見。珍しい面白そうだと感じ、未経験でも挑戦できるのならと入社を志望しました。入社前には体験制度を使い、3日間仕事を体験したことで、入社前の不安も解消されました。



## 元気アップ！ エクササイズ

介護予防教室で実施している体操をご紹介します！

問 長寿福祉課 ☎ 52-1111 (内線174)

### 転倒予防！バランス能力を鍛える ば 四つん這い運動

#### 回数目安

1セット：30秒間を左右交代に2回  
(1日 2～3セット推奨)

1 床に四つん這いの姿勢を取ります。

2 右手を前に、左足を後ろにまっすぐ伸ばし、そのまま30秒キープします。  
左手・右足も同様に行います。

#### 運動のポイント

- 手・背中・足をなるべく一直線になるよう姿勢を保ちます。
- バランスがとりにくい場合は、手のみ・足のみで行いましょう。



市の最新情報、ごみ収集日の通知機能などが便利なスマートフォン向けアプリ「ひたまるアプリ」をご利用ください！



iOS



Android

広報常陸大宮 令和8年3月号  
(令和8年3月25日発行)  
発行：常陸大宮市 編集：企画政策課  
〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6  
電話 0295-52-1111  
E-mail kouhou@city.hitachiomiya.lg.jp

常陸大宮市の人口  
(3月1日現在)  
人口：35,591人  
(男性：17,622人／女性：17,969人)  
世帯数：15,467世帯